

つゆくさ

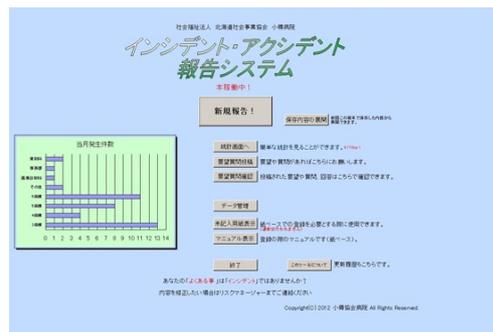


8月の夏の日、院内保育所「たるっこ」のかわいいお神輿がお目見えしました。
真夏の日差しの中、子供たちのお神輿はがんばって病院の周りを一周です。

インシデントアクシデント報告システムについて

8月から、インシデントアクシデント報告システムが変わりました。

今まで、インシデントアクシデントの報告は、当事者または、発見者が、報告用紙へ記載し、部署のリスクマネージャー（所属長）へ提出し、さらにリスクマネージャー（所属長）から医療安全管理者へ提出ということを手作業で行っていました。今回、医事課の大須田主任が、オーダリング用のPCから入力できるシステムを作成してくれました。用紙への手書きの作業がなくなり、オーダリング用のPCがあれば、どこでも入力可能となりました。また、一度でも記載したことがある方はご存じかと思いますが、従来の用紙は、文字がかなり小さく、どこに記入が必要なのかわかりにくかったことに比べ、新システムは選択すると次の選択項目がでてくるため、わかりやすく、作業がかなり楽になりました。しかも、1か月の報告件数などのデータも誰でもグラフで見えるようになっていました。



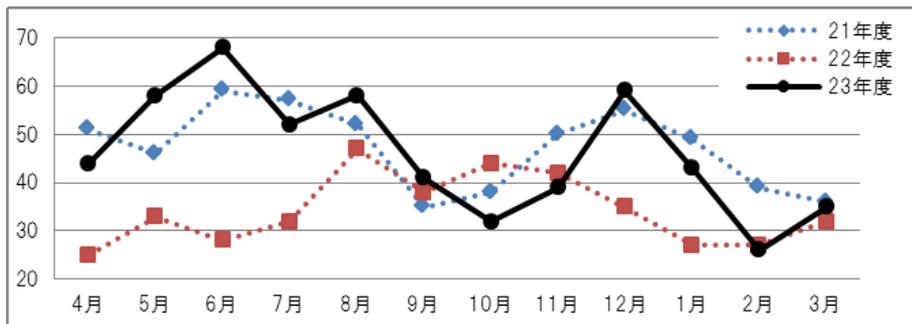
新しいシステムの入力画面

新しいシステムでは、リスクレベル 0（未遂：患者に実施される前に発見した）においては、入力のみで終了となり、従来の報告は不要になりました。リスクレベル1以上は、入力が終了するとプリンターから自動的に用紙がでてくるので、それを従来通りの報告経路で提出していただきます。

インシデントアクシデントレポート提出の目的は、医療事故事例、合併症等を報告することにより、医療事故につながる潜在的な事故発生要因を把握・分析し、これによって医療事故の発生を未然に防止することと、発生した医療事故に対する適切な対応をはかること、ならびに、有効な再発防止策を策定することです。インシデントアクシデント報告書は始末書ではありません。したがって、報告件数が少ないことが、事故が少なくて良いということではなく、より多くの報告をしていただき、実際の数や傾向をなるべく正確に把握したいのです。発見した事故や未遂のデータをより多く集めることによって、現場に即した対策を検討・実施につなげていくことが重要です。報告件数は一年間で、病床数の5倍が妥当と言われておりますが、当院の報告件数は残念ながら、400~500件と、まだ少ないのが現状です。前年度の病床数から計算しても、900件ぐらいが妥当な数字といえます。ぜひ、ヒヤリ・ハットと感じたことを、今まで以上に、気軽に入力していただき、今年度は報告件数の増加を目指したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

過去3年間の報告件数と月別件数

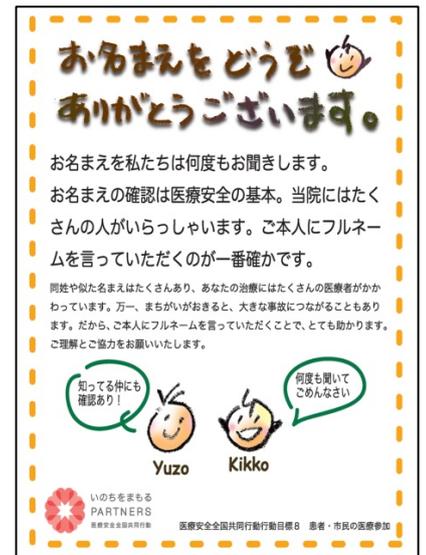
	総数
21年度	567
22年度	410
23年度	555



リストバンドについて

8月1日より入院患者様にリストバンドの装着を開始しました。患者様の安全を守るため、患者誤認防止が目的です。過去に患者取り違いによる医療事故が大きなニュースになったことを覚えている方も多いかと思えます。当院でも大きな事故には至っていませんが、毎年ささいな事例は起きています。昨年度1年間の患者誤認の報告件数は21件で、内訳は薬剤9件、検査8件、指示伝達3件、その他1件でした。その中には、患者確認を確実にルール通り行えば防げたものも多くありますし、また、患者様のお名前を確認したにも関わらず、自分と違う名前に返事をされたために起きた事故も含まれています。患者誤認防止は確実な本人確認が重要で、その方法のひとつとして、今回リストバンドを導入しました。

しかし、当院のリストバンドにバーコードはついておりますが、注射や検体と患者とのバーコードの読み取り機能はありません。従って、今まで通りの人的な患者確認作業は残ります。今のところ、一番確実な方法は患者様とともに、本人確認することです。患者様ご自身にお名前を言っていただき、一緒に確認することを確実に実施していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(右記のポスターを院内に掲示しています)



小樽協会病院SPD業務報告

院外SPDを導入してほぼ2年が経過しました。導入前は院内倉庫方式で週2回の請求でしたが、物品請求業務を院外倉庫方式として業務を委託したことにより、請求は平日の毎日行っています。これにより、各部署での請求業務、器材庫への配置作業等負担が軽減されたことと思えます。



SPD導入の大きな目的の一つとして診療材料費の削減があります。余分な在庫を減らすことで不良在庫をなくすること、また、消費データを蓄積し分析することで同等品の購入を集約し購入費用を抑えることが可能になります。このたび、運用ルールについても見直しを行い、各部署において説明会、ヒアリングを実施し、新しい定数での運用を開始しましたが、運用ルールについて細部まで周知されていない状況が見受けられます。SPDの正確な運用は、病院経営において重要な部分のひとつです。より効率の良い運用を行うため、不明な点・不都合な点などありましたら、用度係までお気軽にご相談下さい。

呼吸器科医師就任のお知らせ



本年 7 月より呼吸器科に新任の医師が着任しましたのでご紹介いたします

名前 : 佐藤 未来(さとう みき)

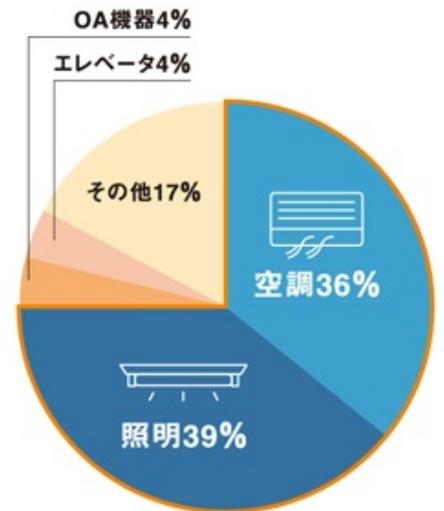
出身地 : 北海道阿寒町

出身校 : 山梨医科大学

一言 : 早く仕事に慣れ、小樽観光を楽しめるようになるのが今の願望です。よろしくお願いたします

当院に於ける節電について

7 月より北海道電力では電気を安定供給する為 7%以上の節電の取組みが行われております。節電の関係で電気予報なるものが新聞、テレビで報道され私達もやっと慣れ親しんできた頃ではないかと思われま。当院は計画停電の対象から外れておりますが、病院として出来る限りの節電に取り組んでおります。昨年度との使用量を比較しますと減少し削減効果が表れています。引き続き職員の皆様のご協力をお願いします。



医療機関での主な電気使用内訳

院内での主な節電

- (1) 蛍光灯 40W を約 30 本削減
- (2) 蛍光灯 32W を約 10 本削減
- (3) 蛍光灯 20W を約 35 本削減
- (4) 蛍光灯器具安定器 (45%電気使用量削減) を院内で合計約 160 台交換済み
- (5) 各部署の協力で蛍光灯の消灯等

電気器具の電気使用料金 (100V 電気単価 10.23 円での計測)

- (1) 40W1 本あたり 24 時間使用で約 12.5 円 (安定器の消費電力含む)
- (2) 20W1 本あたり 24 時間使用で約 5.7 円 (安定器の消費電力含む)
- (3) パソコンとモニターで 1 日約 30 円

※ 施設にてワットチェッカーで計測したものです

はじめました。
節電



乳腺専門外来はじまりました

外科 進藤 学



2012年8月より、毎週月曜日に乳腺専門外来を開設いたしました。完全予約制で、他院からの紹介患者さま、乳がん検診で要精査となった患者さま、しこりなど何らかの症状のある患者さまを対象としています。

問診、視・触診後、必要に応じてマンモグラフィ、エコー、乳腺MRI、細胞診、針生検までを初診時に行い、同じ週に病理診断の結果を説明します。乳がんと診断された場合には患者さまへの告知、術前の全身精査（CT、MRI、骨シンチ等）の予定を組み、乳がんの進行度を正確に判

断し最も適切な治療法を計画します。

初診から診断、治療方針の決定までが迅速になることで、通院回数を減らし時間的負担を減らすことができます。また、一人一人の患者さまにゆっくり時間をかけて病気について説明し、患者さまが不安なことを相談しやすい環境づくりをしております。

当面は毎週月曜日 11時と13時半の2枠で、診療をはじめてまいります。予約に関するお問い合わせは、小樽協会病院地域連携室 榊原までお願いします。

職員の受診時における処方形式の変更について

8月1日以前は、職員が院内で受診した際の処方については、院内処方とし、院内薬局にて調剤を行い、院内薬局で薬を受け取る形式となっておりましたが、薬剤科における負担軽減と院内薬局の薬品在庫の縮小、協会本部からの指導のため、8月1日より一般患者と同様に院外処方となりました。

院外処方の取り扱いにつきましては、以下の点についてご留意されますようお願いいたします。



- 原則、院外処方せんは会計窓口で受け取り、ご自身で院外の調剤薬局にご提出ください。（どちらの調剤薬局でも、薬を受け取ることが可能です。）
- 院外の調剤薬局で薬を受け取る際は、その場で会計をして領収書をお受け取り下さい。（当院から処方された薬代については、還付の対象となります。）
- 院外処方せんの有効期限は、発行当日を含め4日間です。

今年も巡回診療を行います

無料巡回診療とは、社会福祉法に基づき、地域に訪問して診療などを行なうものです。小樽協会病院としては、後志管内で年2回地域住民の健康管理のために乳がん検診、心電図・A B I 検査、血液・尿検査などの健康診断を無料で行っています。今年は10月21日（日）仁木生活改善センターで行います。昨年度は33名もの地域住民の方々にお集まりいただき、診療を行いました。今年度は検査項目を増やし、メタボリック検診もできるようになりました。

12月には、神恵内村でも昨年に引き続き巡回診療を行なう予定です。普段病院までお越しになれない仁木町神恵内の住民の方々、この機会に是非受診してくださいね。

後志いきいき健康まつり参加報告

皆様の健康でいきいきとした生活を、医療・介護専門職員が応援致します!!

入場無料
申し込み不要

後志いきいき健康まつり

開催日：平成24年9月2日（日）

10:00～13:00

会場：小樽経済センター7F大ホール

（小樽市福穂2丁目22-1）
※駐車場スペースがございませんので、
公共交通機関または有料駐車場をご利用下さい。



栄養士による講演会
「介護と上手に接するためには」
～簡単に作れる介護食～
講師：サンシャイン栄養コンサルタント
管理栄養士 齋藤 郁子 先生

医療・福祉
なんでも相談会

最新介護用品
展示・体験会

転倒予防に
簡単体操法

体力測定・血管年齢
無料で測定できます

後志地域にお住まいの皆様のご健康と、笑顔あふれる明るい街づくりを応援しています。当日試食品の配布を行っています。お気軽にご来場下さい。

主催：後志地域リハビリテーション推進協議会 後援：小樽市 北海道福祉文化会館 北海道内保健所
協力団体：北海道理学療法士会後志支部 北海道作業療法士会後志支部 北海道栄養士会後志支部
北海道介護福祉士会後志支部 北海道介護福祉士会後志支部 北海道介護福祉士会後志支部
協賛：株式会社トップ 有限会社ツルギスライ

問い合わせ先：0134 (23) 8266 札幌・すがた医療内 事務局 藤田まで

平成24年9月2日（日）10:00～13:00まで、小樽経済センター7階大ホールにて、「後志いきいき健康まつり」が行われ、実行委員として私、鴨崎も参加して参りましたので報告させていただきます。

当院からは、管理栄養士の奥嶋さん、理学療法士の照井さん、そして医療ソーシャルワーカーの鴨崎の3名が、それぞれ所属する職能団体を通して参加致しました。昨年の10月にマリンホールにて第1回を開催し、今年は2回目の開催となりました。昨年は荒天に恵まれ（笑）、あまり参加者数が多くはありませんでしたが、今年は80名を超える参加がありました。

講演は“簡単に作れる介護食”をテーマに、電気ポットや炊飯器などを利用した介護食が紹介され、皆さん熱心に話を聞かれていまし



た。また、講演後には試食もあり、私も一口いただきましたが、非常においしく、どのテーブルでも皆さん完食されていました。

その他、各団体による体験コーナーや相談コーナーがりましたが、中でも一番人気だったのが、血管年齢のコーナーで行列ができるほどの盛況振りでした。皆さん、自分の血管年齢に興味津々のようです！ 来年も引き続き行っていききたいと思います。

絵本セラピーを行いました

今回の当院加藤医師が主催のつばきカフェでは堂真道先生を招き、絵本セラピーを行いました。数名ずつでグループをつくり、堂先生の読む絵本に聞き入っていました。子どもの頃の素直な気持ちを思い出したり、参加者同士で自分の考えを伝え合ったりと楽しいひと時を過ごしました。皆さんもたまに絵本を読んでみませんか？心が癒されますよ。



絵本セラピスト「どうくん」こと 堂 真道先生（札幌市の歯科医）

退職のご挨拶

呼吸器科 寺山 敬介



小樽協会病院での日々も残り数日となりました(9/16 現在)。
実は、この病院で2年間研修をした後、3年目に残ったのは私が初めてです。最初の2年間いろんな科で研修できたおかげで、どの階・部署に行ってもお世話になった方がいて、困ったことがあってキョロキョロしていると声をかけてくれます。私には最高に働きやすい病院でした。こんな病院はもう二度とないので離れるのは非常に残念です。

2年半前、医師としての第一歩を踏み出したころは全く何もできませんでした。看護師さんから採血を習ったり、検査室に心エコーの練習をさせてもらいに行ったり、時に放射線技師さんに「この画像どこか変なところありますか?」と聞きに行ったり、私にとっては全職員が指導者です。

この病院での仕事が楽しく、患者さんの中には私の異動を残念に思ってくれる方もいて、ずっと小樽協会病院に残ればどれだけ良いだろうかとも思いますが、私はまだまだ未熟でいろんな病院で勉強しなければいけないことがたくさんあります。

今はまず医師として研鑽を積み、もう少し仕事ができるようになってから、いつかまた小樽に戻ってきたいと思っています。

今までありがとうございました。何年後になるかわかりませんが、また会いましょう。



『患者様満足度調査』報告

7月の末に外来患者様を対象とした満足度調査が行われました。回答数は201（男性75、女性126）で、幅広い年齢層の患者様から貴重なご意見を頂きました。質問項目は待ち時間、診察・対応、病院施設、あったら良いと思われるサービスなどです。患者様からのご意見・ご要望、あったら良いと思われるサービスには改善に向けての貴重な生の声が寄せられています。これから改善策は委員会や会議の中で話し合われていく事と思われます。患者様の声に真摯に向き合いより良い病院にしていきたいと思います。

(調査の集計は病院のホームページに掲載されておりますのでぜひご覧ください)



今年も潮まつりに参加しました

小樽最大のお祭り『潮まつり』。当院から約100名がねりこみに参加し、暑い中、グリーンロードから第三埠頭まで約二時間かけて踊りました。今年は浴衣も新調され、また、たくさんの子供たちが参加し、とてにぎやかな一団となりました。踊った皆様、大変お疲れ様でした。今年参加できなかった皆様も来年は一緒に踊りましょう。



編集後記

暑すぎる夏を何とか抜けて、少し涼しくなって参りました今日この頃です。

先日、函館病院で研修があり同僚と一緒に行ってきました。研修といえども知らない土地(実際はよく知ってますけど)、何をたべようか楽しみです。JRで函館へ。さて昼食は？やはりここは「ラッキーピエロ駅前店」でしょう。さすが函館市民のソウルフード。いってみると大混雑!!「ご注文は？」と聞かれればやはり『当店人気NO.1「チャイニーズチキンバーガー(以下チャイチキ)セット」』(同僚も全員同じもの)。やはりうまい!鳥のから揚げに特製中華風あまからソースを絡ませてかなり味は濃い目。でも、たっぷりのレタスで以外にさっぱりあっさり。さらにレタスに塗られたマヨネーズの酸味がプラスされたときの味のハーモニーいったら「何じゃこりゃー」ですよ。イヤー最高、函館万歳!しかし、数日後の深夜番組「おにぎりあたためますか」で函館特集をやっていて「ラッキーピエロ」取材していました。当然チャイチキだろうと思っていたら大泉洋さんが「みんなここに来るとチャイチキを注文するけど、本当はハンバーグが一番うまいんだよ」

「今日はチャイチキなしで行こう」との一言。なんてこった、全員でチャイチキを食っちゃった。はやく知りたかったー。北海道民のそんな情報を聞くとは何が何でも「ラッキーバーガー」を食べたくなりました。(渡辺)



小樽協会病院広報誌“つゆくさ”NO.40

発行：小樽協会病院 編集委員会

発行日：平成24年9月

発行人：川村 健

編集委員長：渡辺 直輝